

安井息軒 きけん 儒者。寛政十一年一月一日日向國宮崎郡生れ、明治九年九月二十三日没（二七九—一八七六）。講朝衡、衡と修介、字・蒲稱仲平、幼名順作。別號半九子、半九陳人、南陽、清瀧、葵心子、足軒。飲肥きび藩儒安井滄洲の次男。文政七年昌平坂學問所に入る。天保二在藩醫派徳富創設と兵の助教となり、總裁の父を助勢。弘化四年江戸の邸務に就き、黒船來航時には「海防私議」を著して水戸烈ハム（徳川齊昭）等の賛同を得、名譽を揚げた。文久三年昌平醫教授。著書の中、キリスト教批判の「辨妄」が有名。また森鷗外作品に「安井夫人」がある。

著書『讀書餘滴』

讀書餘滴 睡餘漫稿

（明治二十二年十一月—二十四日安井氏藏、成書堂發賣）、『書說摘要』全四冊（大正十四年八月京文院「崇文叢書」）、

『北渚白抄』全二冊（大正十四年九月十日安井小太郎刊）、『息軒先生遺文集』（黒江一朗編纂註解、昭和二十九年九月二十日宮崎・安井

息軒先生顯彰會）、『息軒先生遺文集續編』（黒江一朗編纂註解、昭和二十一年十月二十日宮崎・安井息軒

先生顯彰會）、『安井氏記行集』（安井滄洲合著・黒江一朗編纂註解、昭和二十四年八月二十日宮崎・安井息軒先生顯彰會）等。又獻心、安藤定和、

和、辨妄和、解』（明治七年一月和歌山・藤井藏梓、水野慶次郎・加藤

又兵衛發兌）、松本豊多校註

『辨妄』

（明治十四年七月文海堂藏

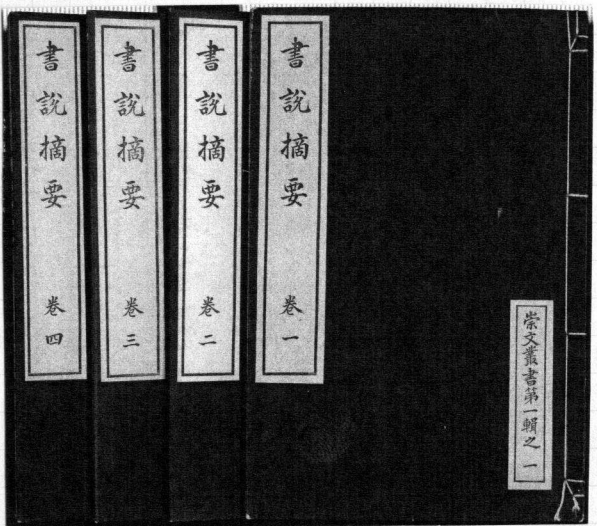
）

）

）

）

）



（明治十四年七月文海堂藏）

版)、若山田藏著『安井息軒先生』(大正二年十一月二十六日宮崎・
藏六書房)、黑江一郎著『安井息軒』(昭和二十八年八月一日宮崎・
日向文庫刊行會「日向文庫」等。